

Enigma Sopranino の導入(14)

—総括—

1. 始めに

[前報\(13\)](#)までに報告した Enigma の Sopranino の導入報告の結果を総括します。

2. Sopranino の総括

2-1) Sopranino の導入経過

[Enigma Sopranino の導入\(1\)](#)では Sopranino の導入経過を述べています。2015 大阪サウンドコレクションに行った際、ノアのブースで Enigma の Sopranino という静電型のツイーターのデモを試聴し、その音質に興味を持ち、取り扱い店の河口無線を通して試聴機の貸し出しを依頼して試聴を行いました。試聴結果は次の報告通り上々で導入を決めました。また、これまでのスーパーツイーター導入の経過についても要約しています。

[Enigma Sopranino の試聴\(1\)](#)

[Enigma Sopranino の試聴\(2\)](#)

[Enigma Sopranino の試聴\(3\)](#)

2-2) Sopranino の FAL C90EXW への付加

次の報告では Sopranino の FAL C90EXW への付加の結果の報告を行っています。

[Enigma Sopranino の導入\(2\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(3\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(4\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(5\)](#)

Enigma Sopranino の導入(2)では Enigma Sopranino の試聴(1)の結果の再現が取れたことを報告しました。

Enigma Sopranino の導入(3)では、BS 録画の再生を行うとともに EMT981 による CD の再生を行いました。ともに今までにない満足すべきレベルに達していることが確認でき、演奏の持ち味や曲想が手に取るように分かるようになりました。Sopranino のレベルとロールオフ周波数の周波数の設定も Enigma Sopranino の試聴(1) の結論通りで良いこともわかりました。

Enigma Sopranino の導入(4)では、PC オーディオとベルリンフィル Digital Concert Hall の再生を行いました。PC オーディオでは HQPlayer による DSD の Native 再生と Plextor Premium 2U から CD を再生して DSD にリアルタイム変換再生することを行いました。PC オーディオとベルリンフィル Digital Concert Hall の再生と

も **Sopranino** の付加により、隠れていた本来のポテンシャルが発揮できてきたように感じます。

Enigma Sopranino の導入(5)では、アナログの再生をガラード 401 に装着した **EMT XSD-15** と **iPhono** の L/R2 台独立使用で行いましたが、**Sopranino** の追加によりアナログ再生も一層魅力が増すことがわかりました。

2-3) **Sopranino** の **JBL4350A** への付加

次の報告では **Sopranino** の **JBL4350A** への付加の結果の報告を行っています。

[Enigma Sopranino の導入\(6\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(7\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(8\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(9\)](#)

Enigma Sopranino の導入(6)では **Enigma Sopranino** の試聴(2)の結果の再現が取れたことを報告しました。

Enigma Sopranino の導入(7)では、BS 録画の再生を行うとともに **EMT981** による CD の再生を行いましたが、ともに **JBL4350A** としては今までにない満足すべきレベルに達していることが確認できました。

Enigma Sopranino の導入(8)では、PC オーディオとベルリンフィル **Digital Concert Hall** の再生を行いました。PC オーディオでは **HQPlayer** による **DSD** の **Native** 再生と **Plextor Premium 2U** から CD を再生して **DSD** にリアルタイム変換再生することを行いましたが、PC オーディオとベルリンフィル **Digital Concert Hall** 再生ともに **Sopranino** の付加により、**JBL4350A** 本来のポテンシャルが発揮できてきたように感じます。

Enigma Sopranino の導入(9)では、アナログの再生をガラード 401 に装着した **EMT XSD-15** と **iPhono** の L/R2 台独立使用で行いましたが、**Sopranino** の追加により **JBL4350A** においてもアナログ再生も一層魅力が増すことがわかりました。

2-4) **Sopranino** のサブシステムへの付加

次の報告では **Sopranino** の中型スピーカーを使用する三つのサブシステムへの付加の結果の報告を行っています。

[Enigma Sopranino の導入\(10\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(11\)](#)

[Enigma Sopranino の導入\(12\)](#)

Enigma Sopranino の導入(10) では、**EMI** のスタジオモニター **DSL529** に **Sopranino** を加えてみました。**DSL529** は **Leak Pont1** と **IPC 1029** で駆動し、**Sopranino** の比較対象として **Take2** の **BAT1** も聴いてみましたが、**DSL529** に **Sopranino** を加えますと、とてもビートルズ時代のスピーカーとは思えないフレッシュな音がするようになりました。**Sopranino** の比較対象として **Take2** の **BAT1** に繋

ぎかえますと、これはこれで悪くはないのですが、弦の艶は一步後退し、Sopranino と比べると単調に聴こえてしまい、Sopranino の実力が分かりました。

Enigma Sopranino の導入(11) では、AXIOM80 に Sopranino を加えてみました。AXIOM80 は Leak Pont1 と PX25 シングルで駆動しましたが、Sopranino を加えますと、高域がしなやかになり、奥行き感と切れ味が両立するようになり、AXIOM80 の欠点を抑えながら、もともとの持ち味を生かすように変りました。

Enigma Sopranino の導入(12) では、TELEFUNKEN の局用モニター L61 にパラに Sopranino を加えてみました。L61 は Leak Pont1 と PX25 シングルで駆動しましたが、DLS529、AXIOM80 と同様、L61 もクオリティのアップとスピーカーのサイズを感じさせないスケール感も楽しめるようになりました。

2-5) Sopranino のミニシステムへの付加

次の報告では Sopranino の小型スピーカーを使用する三つのミニシステムへの付加の結果の報告を行っています。

[Enigma Sopranino の導入\(13\)](#)

①Isophon10cm Full Range

②Isophon HK 6-8A10cm Full Range×6

③Acoustic Lab Stella Harmony

Isophon10cm Full Range と Isophon HK 6-8A は Leak Pont1 と IPC AM1029 で駆動し、Acoustic Lab Stella Harmony は Leak Pont1 と PX25 シングルで駆動します。価格帯も製作意図も Sopranino とは、まったくアンバランスな小型スピーカーでも Sopranino の効果が認められました。特に Isophon10cm Full Range に Sopranino を加えるとスケール感まで出てきたのには驚かされましたし、Stella Harmony も癖のない素直なしなやかな音が魅力的です。

2-6) アナログ再生時の集中試聴

アナログ再生時の Sopranino の FAL C90EXW と JBL4350A への付加の効果は、M 氏、O 氏、A 氏をお迎えした際にも確認していただきました。

[iPhono の活用\(18\)](#)

[iPhono の活用\(19\)](#)

3. まとめ

- 1) Sopranino の付加は、Isophon の 10cm フルレンジから JBL4350A のような大型スピーカーまで大きな効果を認めました。
- 2) 効果の方向性として、高域が伸びていない Isophon のフルレンジや高域がきついホーンユニットがある JBL、さらにはダブルコーンの暴れがある AXIOM80 まで、いずれもそのような癖を緩和して目立たなくしてくれます。
- 3) 比較的バランスの良い FAL や Stella Harmony や EMI や TELEFUNKEN のモニ

- ターなどは、バランスの良さはそのまま残しながら、グレードを上げてくれました。
- 4) 中型の AXIOM80 や EMI と TELEFUNKEN のモニターなどは大型スピーカーに迫るようなスケール感を感じさせ、もともとスケール感は期待できない 10cm フルレンジまでそういった効果がありました。
 - 5) 音源はアナログからデジタル、そしてネットからのストリーミング再生まで、どのような音源を持ってきても、その特質を活かしながらグレードを上げていく方向に変わりました。
 - 6) フォーマットの的に高域特性が物足りないはずの CD の再生やネットからのストリーミング再生もそのような限界を感じさせない鳴り方をしてくれました。また、11.2MHzDSD 録音のようなハイレゾ再生は、そのメリットをさらに強く感じさせてくれました。

以上